

心優しい子どもたちを育んだ3校の歴史

明治五年の学制発布によって、翌六年の野尻小学校が創立され、以来百二十一年の歴史を刻んできました。

初代校長は林純三郎先生で、郡内十二校の一つとしてスタートし、幾多の優秀な人材を輩出してきましたが、本年三月末をもって発展的に廃校することになりました。

これは、昭和三十年代後半からの経済の高度成長にともなって、激しい社会変化や自然環境が変貌し、年とともに児童数の減少を招くことになったものと考えます。

このことから、望ましい教育環境とその効果を考えて、蔵地の里に木の香りも新しく、高森東小学校が創立されることとなりました。

この間、町当局をはじめとして、関係機関各位の絶大なるご支援と、校区の皆さんの温かいお心配りによって、「人づくり」としての学校の目的を達成することができましたことを、心から感謝申し上げます。

今後は新しい伝統をつくるように、三つの校区すべての方々の交流と、ご理解、ご協力によつて、特色のあるすばらしい学校が誕生することを心から願っております。

新しい学舎に期待を寄せて



野尻小学校
校長
東 認

本校は沿革誌によりますと、明治六年に味鳥部落の寺院にて始まつたとのことであります。その後、明治、大正、昭和、平成と百二十一年の輝かしい伝統を持ち、幾多の変遷を経てまいりました。

その間、本校で勉学に励み卒業した人は、千三百八十余名を数え、数多くの優秀な人材を世に送り出し、母校の名誉のために様々なか分野で活躍しておられます。

先の戦争あるいは、病に倒れられた今は亡き先生、同窓の皆様方に対しても、心からご冥福をお祈り致します。

時代の流れとは言え、人口の過疎化とともになつて、児童数の減少により廃校となることは、一抹の寂しさを感じますが、これは統合という新しい門出でもあり、すばらしい校舎での勉強を、子どもたちは楽しみにしているようです。

今回の廃校によって、文化の殿堂としての学校は無くなりますが、河原校区体育・文化振興会や、地域の発展をめざす、色々な組織の皆さん的一致団結によって、地域が益々発展しますことを祈ります。

子どもたちよ心優しくたくましく育て



河原小学校
校長
三村 治利

草部北部小学校は百二十一年の歴史の中で校区住民の心のよりどころとして、愛され励まされて、確実な教育実践と成果を積み重ねてきました。

昭和三十六年には児童数百九十一名を数えましたが、急激な科学の進歩と経済の成長は情報化社会の中で、人々の町外への流出を誘い、平成六年度は全校児童数が二十二名に激減することになってしまいました。

「子どもたちに単式学級での授業と好きな部活動を。鉄は鉄で磨かれ光沢を増すように。人は人に鍛えられて成長しなければ。」といった、保護者の思いが統合への重い扉を開くことになりました。廃校が決定し、地域から学校という灯が消えることで、保護者会を中心に行五・六会、婦人会、老人会などの方が児童とともに別れを惜しむ催しを、たくさん開催していただきました。

このように、地域に温かく見守られ、支えられた貴重な伝統を財産として受け継いだ子どもたちが、新設される高森東小学校発展の推進力となり、強く、たくましく育っていくことを確信いたします。

惜しまれながらその幕を閉じる

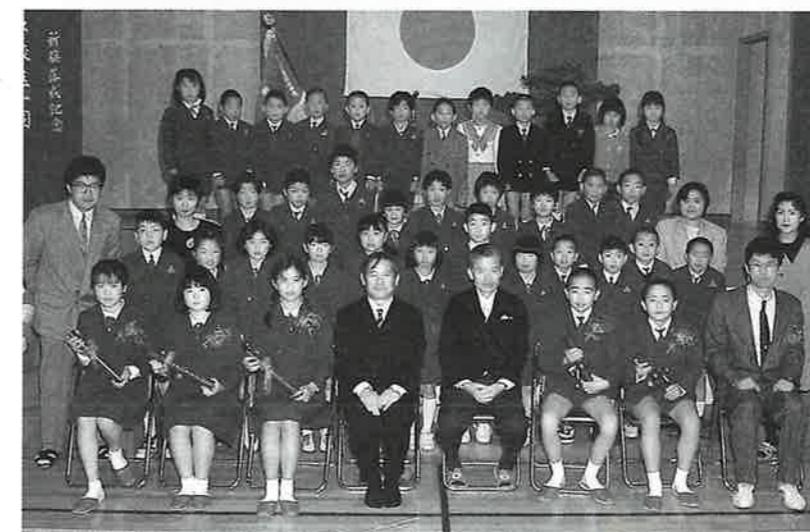


野尻小学校
明治6年開校

河原小学校
明治6年8月開校

草部北部小学校
明治7年3月開校

各校平成7年3月末で
創立から121年を数える



平成六年度をもつて、本町の野尻小学校、河原小学校、草部北部小学校の三校が廃校となり、大字野尻蔵地の地に新しく建設された高森東小学校に統合されました。

各校とも、地域に根ざして、独特な特色と伝統が培われてきており、在職されたたくさんの先生方の昼夜にわたる献身的な指導と、各校区民の皆

さんの理解によって、「人づくり」としての教育が推進されました。この間、高度経済成長のふすぎが本町全体に進み、この三校区にも過疎化の波が急速に押し寄せたことにより、児童数の減少が複式授業や施設面などで、子どもたちに負担を強いることとなつてしましました。

このため、町ではより良い

教育環境を子どもたちに与えることを最大限に考え、校区の皆さんのご理解によって、小学校統合を推進し、今回この三校が学校としての役目を終えることになったのです。三月十五日に野尻小学校。十六日に河原小学校。十七日に草部北部小学校で最後の卒業式と、思いでの学舎との「別れの式」が行われました。

一歳を过了ました みんなで仲良く遊びました わたしたちを育てくれた母校ありがとうございました
そして、いつも遊んだり 心からしかつてくれた先生方 本当にありがとうございました

高森町立 野尻小学校



本町最東部、宮崎県境近くに位置し、3月末日現在で児童数25名、教職員数6名、1~2年、3~4年、5~6年の複式3クラスにて運営されてきた。

児童像「のびのび明るく元気な子、じっくり考え、よく遊ぶ子、りっぱなあいさつ、すなおな子」



「糸まき、みの」などの民芸品も保存されていました。



『お口を大きく開けて～』



こちら5~6年生のクラス



『先生！あのね～』



ほくも野尻小の子どもです。
ただ今、お食事中！



楽しい給食（1・2年生）



本町最東部、宮崎県境近くに位置し、3月末日現在で児童数25名、教職員数6名、1~2年、3~4年、5~6年の複式3クラスにて運営されてきた。

児童像「のびのび明るく元気な子、じっくり考え、よく遊ぶ子、りっぱなあいさつ、すなおな子」



みんなで縄とび
「1・2・3・4…」



何でも食べようね
(1年生クラス)



バトルのそうじもがんばっています。



登校のようす、きちんと手を上げて渡ります



本町の北部、大分県境近くに位置し、3月末日現在で児童数38名、教職員数7名、1年、2年のクラスと、3~4年、5~6年の複式2クラス合計4クラスにて運営されてきた。

児童像「あたたかく、かしこく、たくましい子」

高森町立 河原小学校



やっぱり給食おいしいよ。



登校のようす、きちんと手を上げて渡ります



さー今日も頑張るヨー（1・2年生）

廃校式と卒業式の歌を練習中



歯を大切にしましょう



学校所在地 高森町大字矢津田

3月末日現在、児童数21名、教職員7名。

1~2年、3~4年、5~6年生の複式3クラスにて運営されてきた。

児童像「勉強、読書、花、元気、友だちいっぱいの子」

高森町立 草部北部小学校

各校を記録を兼ねて取材しました。各校ごとに素晴らしい個性を感じました。撮影した中からその一部を紹介します。四月からはこの子どもたちが仲良く元気に、新しい高森東小学校に集います。



ゴミ問題を真剣に考えて欲しいと話されるクリーンセンターの斎藤末光さん

ゴミが多くなる季節 ゴミを少なくする工夫 ゴミの分類にもご協力を

昨年八月から阿蘇南部クリーンセンターで高森町他三ヶ村のゴミ収集関係を管理運営されている斎藤末光さんに、ゴミ出しの実態や問題、これらの対策などについて、お話をうかがいました。

広報 まず、ゴミの分類などゴミ出しの実態についてお話をうかがいました。

斎藤さん 皆さんの理解と協力で焼却場の残灰が四割減少につながったことは事実ですが、ゴミの分類は完全とは言えません。燃える物の中に空き缶、空き瓶が混じっている状況がまだまだ見られ、残灰としてどうしても残ってしまいます。また、資源の活用と収集員の安全確保のために、燃えない物でも金属類とガラス類は分けるようにお願いします。これらを分けるためにも時間と労力がかかっています。

広報 これらの問題は、私たちが決められたことを守れば解決しますね。

斎藤さん そういうことです。

みんなのモラルで解決

ゴミ出しの現状

昨年八月から阿蘇南部クリーンセンターで高森町他三ヶ村のゴミ収集関係を管理運営されている斎藤末光さんに、ゴミ出しの実態や問題、これらの対策などについて、お話をうかがいました。

広報 まず、ゴミの分類などゴミ出しの実態についてお話をうかがいました。

斎藤さん そうです。まず全體の処理能力に影響が出ますし、何と言つても経費の増高につながります。このセンターの運営は国・県の補助金と四ヶ町村の負担金で賄つていますので、簡単に言うと、ゴミの処理に手がかかればかかるだけ、皆さんが余分な税金を払わなければならぬといふことになるわけです。ゴミ処理にはそれだけお金がかかることになります。ゴミを扱っていることをぜひ知つていただきたいですね。

広報 これらの問題は、私たちが決められたことを守れば解決しますね。

斎藤さん そういうことです。

広報 ゴミの完全分類は、皆さん一人ひとりの協力ですぐに達成できることです。皆さんのモ

キヤベツを専門にした農業経営を行っています。(六百二十種)がありますが、品種の研究や、効率的な労力分配と作業能率向上、機械導入などにより大規模農業経営を実現しています。また、いろいろな組織活動での要職はほとんど経験するなど、今回これらの日々たゆまない努力と地域への貢献が認められて受賞となつたものです。

井上さんは「当たり前のことをしたままでですが、表彰い

5/11から
5/20まで

春の交通安全運動実施

重点目標 シートベルト着用の徹底
子どもとお年寄りの交通事故防止



昨年、町からお配りした、反射テープ付きのタスキをご利用ください 夜の散歩やジョギングなどには必ず付けましょう

農業最前线

県野菜経営コンクール

県最優秀賞・熊本県賞
農林水産大臣賞

井上 敬雄さん

井上さんはご家族三人で、キヤベツを専門にした農業経営を行っています。(六百二十種)キヤベツには「いろどり」「秋徳」など、たくさんの品種がありますが、品種の研究や、効率的な労力分配と作業能率向上、機械導入などにより大規模農業経営を実現しています。また、いろいろな組織活動での要職はほとんど経験するなど、今回これらの日々たゆまない努力と地域への貢献が認められて受賞となつたものです。

井上さんは「当たり前のことをしたままでですが、表彰い

ただいて感激です。これが町の若い人の励みになれば幸いです。品種の選定は難しいですが、これからも向上心を持ち、家族と力を合わせて良いキヤベツを作つていきます。」



本町には農作物の各分野で、県内トップクラスの積極的に様々な研究や取り組みを行っている農業者がたくさんおられます。(先月号にも表彰記事掲載)
二月二十二日の熊本県「花き」品評会表彰式で渡辺博実さん(上在)が秀賞と熊本県賞を受賞。また、三月三日に開催された熊本県野菜経営コンクールで井上敬雄さん(矢津田)が最優秀賞を受賞し、農林水産大臣賞と熊本県賞も受賞されました。

秀賞・熊本県賞「バラ」
品種名 ローテローゼ
品種名 渡辺 博実さん



熊本県 花き品評会

たくさんのバラの品種の中、渡辺さんはローテローゼ(ビロードのような赤いバラ)を主体に作っています。栽培には選花しやすく、作業効率を高める「基切法」を取り入れたり、色や形の研究などで、優れたバラを作っています。研究すればするほど未知数なところもありますが、それだけ楽しみであります。今回の表彰を励みとして、町内のバラ栽培者の方と力を合わせ、研究し合つて良いものを作つていきましたね。」と渡辺さんは話されていました。

2000m² 以上の土地取引には事前の届出を

届出が必要なもの

- 売買 ●交換 ●営業譲渡 ●譲渡
- 担保 ●代物弁済 ●共有持分の譲渡
- 地上権、貸借権の設定、譲渡 ●予約完結権、買戻権などの譲渡 これらの取引の予約も事前に届出が必要です

土地の投機的取引や地価の高騰を抑制し、乱開発を防ぐことは、みんなの生活を守る上で大切なことです。土地の売買、交換など2000m²以上の土地取引の際には、契約前に届け出してください。届出をしないと法律で罰せられたり、税法上の特典が受けられなくなります。

届出とおたずねは…企画課までどうぞ ☎2-1111

ラルに訴えたいと思います。ゴミ出し日についても、決められた日に出していただきたいですね。この問題も先ほどお話しのように、どれだけお金をかけてもいいならば、毎日でも収集できますが、そういう訳にはいきません。もしもそうするとしたら莫大な経費かかり、それが即皆さんどの負担にかかわってくるわけ日でも収集できますが、そういう訳にはいきません。もしもそうするとしたら莫大な経費かかり、それが即皆さんどの負担にかかわってくるわけですからね。「自分でできることは自分で」の精神は、自分自身の負担を少なくする」とつながらるのです。

意識を変えてみましょう

広報 私たちは意識を変えなければなりませんね。

斎藤さん それと「ちょっとだからこのくらいかまわない」とか「他の人もそうしてたらどうでしょ」という考え方ではいけないと思ひます。粗大ゴミについても、品物が壊れたら、新しい物を買った方が修理するよりも安いということです。大きさの問題で、ゴミの増加は自然環境の破壊にもつながり、私たちの生活に直接関わってくる問題です。

今後はこういった課題にも、私たちクリーンセンターが四ヶ町村や国・県と一緒にになって真剣に取り組んでいかなければならぬないと考えています。



議会だより

部落差別等撤廃・人権擁護に関する条例の制定など 三十二議案を可決、

特別会計

(単位
千円)

**平成7年度予算総額
14億4500万円
(暫定予算)**

本年度は統一地方選挙が実施されることにより、6月末日までに必要な経常的事務費を主体とした暫定予算が14億4500万円となりました。

**平成6年度予算総額
56億3668万5千円**

平成6年度一般会計歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ1694万1千円を減額して、歳入歳出予算の総額を56億3668万5千円としました。

一般会計

**差別の根絶のために
みんなで心と力を
合わせましょう**

- 部落差別の一日も早い解決と人権擁護、そして町民みんなで人権意識を高め、学び合うことを目的として、高森町に関する条例が制定されました。

特別会計名	平成6年度補正後の予算総額	平成7年度予算
国民健康保険	836,066	740,029
老人保健	826,284	817,610
住宅新築資金等貸付金	2,365	2,526
誘致工業用地取得及び用地造成事業	38,193	6,028
鉄道経営対策事業基金	21,488	14,958
簡易水道事業	235,574	138,952
農業用水供給事業	37,462	34,076

積極的に推進するとともに、行政のすべての分野で町民の皆さんと力を合わせ、基本的な人権をみんなで尊重し合いながら、部落差別をはじめとしたあらゆる差別をなくして明るい町を創つていこうというものです。

この条例の有無にかかわらず、差別の根絶のためには、私たち人は人の心の悩みや痛みを知る優しさと助け合う気持ちを持ち、自分の課題としてとらえることが大切です。

議員提出議案

その他の可決されたおもなもの

■固定資産審査委員会委員に鶴林巧氏が再任されました。

■本年四月一日から、満二歳までの乳幼児は入院、通院にかかるわざ、医療費助成が受けられることになりました。この制度に該当する乳幼児については、医療費受給者証が町から交付されます。

■町道上洗川～長迫線用地交渉専門委員として野尻昭光氏が選任されました。

高森温泉館
カラー入館券販売中
価格400円

- ☆とってもきれいな、カラー入館券が出来ました。
- ☆町外の方へのプレゼントに最適。
- ☆役場会計室でお買い求め下さい。

みんなで考え方
支えよう
高齢社会

寝たきりゼロ作戦

脳卒中と骨折が 寝たきりになる最大の原因



寝たきりになる原因の約半分を脳卒中と骨折が占めていますから、この二つの病気を減らす事が寝たきり予防の第一歩といえます。脳卒中は高血圧、動脈硬化、糖尿病などの成人病が原因で起こるといわれ、骨折は骨がもろくなるという骨粗しょう症が最大の原因となっています。これらの予防には、ふだんから適度な運動、塩分を控えバランスのとれた食生活、積極的な余暇の活用を心がけ、定期的に検診を受けて、成人病の早期発見・早期治療に努めることが大切です。

寝たきりをなくすためには、家族はもちろん、お年寄り同士や地域の人などがお互いに声をかけて、励まし合うこと、生きがいを見つけてあげることも大切なことです。それに伝承行事などに指導協力いただいたり、子どもたちとの交流も良い方法です。核家族が多い中、お年寄りのお力はたいへん重要なものです。みんなの心をつなぎ、明るい社会を作りだすことにもつながります。

寝たきりをなくすためには、家族はもちろん、お年寄り同士や地域の人などがお互いに声をかけて、励まし合うこと、生きがいを見つけてあげることも大切なことです。それに伝承行事などに指導協力いただいたり、子どもたちとの交流も良い方法です。核家族が多い中、お年寄りのお力はたいへん重要なものです。みんなの心をつなぎ、明るい社会を作りだすことにもつながります。



在宅介護支援センター長の長野征さん
(梅香園ディ・サービスセンターに隣接)

福祉や医療などについて、相談者に一番合った支援方法の助言や福祉サービスの紹介、利用手続の代行業務など、総合的な対応を行っています。

お年寄りのご相談、何でもご遠慮なくお電話ください。

2010年9月15日(敬老の日と覚えてください)

お年寄りの相談お受けします

お年寄りが安心して暮らせるよう、みんなで手を取り合って支えあう場所、それが在宅介護支援センターです。

24時間体制で色々なご相談に応じながら、さまざまなサービスを提供します。一人で悩まず、どんな小さなことでもご相談ください。

お年寄りの多くは住み慣れた所で生活し続けたいと望まれています。この要望にお応えし、支えていく一つの取り組みとして、このほど本町に在宅介護支援センターがオープンし、活動を開始しました。これは地域の医療、保健、福祉サービスやボランティアなどの地域住民の活動に精通した福祉の専門家が、それらの関係機関と連携しながら、福祉の中核として総合的な活動を行っていくものです。

在宅介護支援センターオープン いきいき輝く老後のため、医療、保健、福祉、施設サービスなど、すべての支援策の中核として機能

医療、保健、福祉、施設



TAKAMORIONSEN KAN

ご入館券
高森温泉館
●本券1枚でご1名様に限り、有効です。
●切り離さずに、フロントにご提示下さい。

